

畜産ニュース

岡山県酪農試験場落成式挙行 3月30日に盛大に挙行政

昭和30年より整備拡充中であった岡山県酪農試験場では、本館及実験室と短期講習宿舎の完成を機会に、3月16日落成式を挙行政した。当日は農林省畜産局長代理兼松調査官を始め近県種畜場長、県内関係者等約250名参集、盛大に祝典が行われ、前途の発展を祝福した。

岡山県酪農試験場蒜山分場落成式

昭和31年度より工事に着手し、32年度より発足した蒜山分場は、地元川上村から敷地20町歩の寄附を受け、ジャージー種の指導機関として、各種の施設の整備も急いでいたが、3月主要施設を完成したので、3月30日落成式を挙行政した。当日は最悪の雨天で、会場を隣接茅部小学校に遷して行ったが、関係各町村、地元関係者約150名参集、洵に盛であった。今後圃場の整備、牝牛の導入等を行い、名実共にジャージー地区の指導施設として行く予定である。

なお今回のジャージー種の地域拡大に伴い、新庄、美甘の両村が指定されたので、今後益々分場の重要性が増大された時、この落成式を挙行政したことは洵に意義深いものがあり、今後の活動が期待される。

赤坂家畜保健衛生所新設のうえ発足す

赤磐郡南部四ヶ町の熱烈な要望で、数年来の懸案が実り、昭和33年度新設事業として推進の結果、昭和34年4月1日発足し4月10日を期して一部の業務を開始しました。

管轄区域は赤坂、山陽、瀬戸、熊山の4町で、設置位置は赤坂町苅田可真木です。

建物は3館に分かれ、建坪103坪で5月末日に竣工の予定です。

職員は第一次として、所長に古谷野末光技師（旧養鶏試験場）及び牧野充伸技師補（旧吉井家畜保健衛生所）が赴任された。

なお、同地域は旭東集約酪農圏内にあり、将来畜産振興の拠点として、飛躍が期待されています。

昭和34年度種畜検査実施計画

家畜改良増殖法に基き毎年農林大臣が実施される種畜検査は概ね次の日程で実施されることになった。

第一班、5月5日から5月15日まで—阿哲郡、新見市、高梁市、上房郡、総社市、倉敷市

第二班、5月4日から5月17日まで—真庭郡、久米郡、苫田郡、津山市、勝田郡、英田郡

第三班、5月22日から5月30日まで—笠岡市、浅口郡、井原市、小田郡、御津郡、赤磐郡、西大寺市

ニュージーランド・ローン・マヘカンタイル・エイゼンシー会社のセイ・エム・テイラー氏蒜山地区のジャージー牛を視察

4月6日、ニュージーランド・ローンのシドニー駐在支配人テイラー氏が農地開発機械公団三毛氏と共に来岡、畜産課石井係長、竹原技師の案内で濠州から輸入された蒜山地区のジャージー牛を視察した。

川上村ではミルクカーを使っている16才の娘さんが、丁度彼のお嬢さんと同じ年であったため、プレゼントを交換したり、今後の文通を約したり、日濠親善の交歓の一コマを残して帰岡、翌7日には福田養鶏場を訪れた。

岡山畜産便り1959.04・05

帰途に際し、「母国から送った牛が皆様に大変可愛がられて大きくなり、又お役に立っている姿をみて非常に満足した。胎内輸入の産胎に雑種牛が生れておるが、濠州と日本では乳牛の繁殖に対する考え方が違うため迷惑をかけた点もあったが、農林省とも協議して善処したい」と語った。

全国畜産課長会議開催される

4月2日、3日の両日東京において畜産課長会議が開催され、昭和34年度の畜産関係の重要施策が説明され、岡山県から惣津課長及び出口養鶏、蔵知酪農加本和牛試験場長も同様出席された。

全国家畜衛生主任者会議開催

4月8日、9日の両日赤坂の日本獣医師会館で開催された。岡山県から石井係長及び長江技師が出席した。

安田畜産局長来岡の予定

4月22日から24日の3日間岡山県の畜産事情を視察の予定である。

視察は養鶏試験場、酪農試験場、乳業会社やその他の施設となっている。